

きゅうりブルームレス台木の特性

野菜花き部 南部分場

1. 背景とねらい

近年、きゅうりのブルームレス台木が開発され、現在、高い市場評価が得られている。本県においても63年度はブルームレス台木が急激に広まる状況にあり、これについての技術情報が急がれている。

このようなことから、試験事例が少なく、明らかでないところもあるが、本年度検討したなかで特性をとりまとめたので参考に供する。

2. 技術の内容

1) ブルームレス台木は従来の台木に比べブルームの発生が著しく少ない品種が多いが、本年度は種子の状況等から現地では「雲龍1号」と「輝虎」を導入することになっているので、以下この2品種を対象に特性を示す。

2) ブルームの発生程度

雲龍1号はほとんど発生がみられないが、輝虎は発生しない事例と発生する事例（ブルームの発生にバラツキあり）とに分かれ、不安定である。

3) 収量性

従来の黒ダネ台木に比べ雲龍1号は後期に、輝虎は主として初期に収量が劣り、10%前後減収する事例が多い。

4) 品質

果実の果色は両品種とも緑～淡緑で黒ダネ台木に比べ、やや淡くなるが光沢は強く、特に雲龍1号の光沢は強い。

したがって穂木は果色の濃い品種がよく、露地夏秋どりでは南極1号が適する。

5) 適応地域および作型

適応地域 県下全域

適応作型 露地夏秋どり作型

3. 指導上の留意事項

1) 種子は従来の黒ダネ南瓜より小さく、胚軸が細いことから、台木の播種はきゅうりより3日程度早くする。

接木方法は呼び接ぎがよい。

2) 育苗は電熱温床で行い播種間隔は黒ダネ南瓜と同じ程度に広くし、充実した苗をつくる。

3) ブルームレス台木の根はやや弱いので定植は温暖な日に行い、十分かん水し活着を早めるようにする。

4) 輝虎は低温伸長性が弱く、側枝は従来の台木より1~2節上の6~7節まで除去し、第1果も1節高い9~10節から着果させ、初期の草勢維持を図る。

4. 当該事項にかかる試験研究課題名

夏秋きゅうりの優良台木利用による良品生産技術 圃試(昭62~昭63)

きゅうり台木用かぼちゃの選定 圃試南部分場(昭62~昭63)

5. 参考文献 資料

昭和61年度 野菜試験研究成績概要集(農林水産省野菜試験)

昭和62年度 広島県立農業試験場成績

富山県農業試験場研究報告第11号

6. 試験成績の概要

(1) 圃試本場における成績(昭62)

表1 収量調査

台 木 總 木	収量本数 (6/5株)	10a 当り収量(kg)	対比 (%)	良果率* (%)
黒ダネ南瓜 南極1号	472	1123.4	100.0	69.5
輝 虎 :	378	899.6	80.1	76.5
輝 虎 新北星1号	401	954.4	85.0	72.3
留 魂 南極1号	474	1128.1	100.4	74.1
雲龍1号 :	415	937.7	87.9	75.2
雲龍2号 :	522	1242.4	110.6	75.9
T-NB :	397	944.9	84.1	80.4

$$* \frac{\text{良果}}{\text{良果} + \text{曲果}} \times 100$$

表2 特性調査

品種	項目	果 色	ブルーム	食 味	備 考
黒ダネ南瓜		濃 緑	中~多	良(甘味)	株によりブルームの発生にバラツキあり
輝虎(南極1号)		濃~淡緑	無~多	しふ味	
輝虎(新北星1号)		やや濃~淡緑	少	しふ味	
留 魂		濃 緑	中~多	良	果型良
雲龍1号		緑~淡緑	無	しふ味	果実の光沢強
雲龍2号		緑	極 微	しふ味・にカ味	果型細い良・光沢中程度
T-NB		緑	微	ややにカ味	果型細い中程度